

第1回阿賀野市笹神地区小学校統合検討委員会 会議録

- 1 開催日時 令和8年9月3日（木） 午後6時00分～7時15分
- 2 開催場所 阿賀野市ふれあい会館 1階研修室
- 3 出席者 委員長 佐藤 元彦
副委員長 石塚 繁
委員 荒木弥栄子、若林彩、小菅宏樹、後藤雅利、小野俊巳、
高橋佳代、清野亜季、石山慎太郎、音田奨
教育長 小泉 明美
学校教育課長 五十嵐 貴幸、課長補佐 古田島 理枝子、
係長 小林 智子
- 4 欠席者 なし
- 5 次第 (1) 開 会
(2) 教育長あいさつ
(3) 自己紹介
(4) 委員長の選任について
(5) 副委員長の選任について
(6) 諮 問
(7) 事務局説明（阿賀野市笹神地区小学校の統合について）
(8) その他
(9) 閉 会
- 6 傍聴者 なし

午後6時00分 開会

五十嵐課長

定刻となりましたので始めさせていただきます。
本日は11名の委員のうち10名の委員の方からご出席いただいております。
(1名6時10分に出席)
過半数に達していますので、笹神地区小学校統合検討委員会設置要綱第6条の規定により
委員会を開催させていただきます。
本日は初回の会議となりますので、説明などが主な内容となります。
また、本会議は夜間の開催でもあり、小さいお子さんのいる方もいらっしゃると思いますので、遅くとも7時半には閉会したいと思っております。ご協力お願いいたします。
それでは、お手元の次第の通り会議を進めて参りたいと思います。
最初に教育長からあいさつを申し上げます。

小泉教育長	本委員会は将来にわたる笹神地区の児童数の減少や教育環境の充実を検討するため、笹岡小学校及び神山小学校の統合について検討をしていただきたく設置したものであります。 皆様方におかれましては、委員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。 子供たちのより良い成長のためにはどんな学校のあり方がよいのか、皆様から忌憚のないご意見を頂戴したいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
五十嵐課長	本日、傍聴者はいらっしゃいませんが、公開の会議としておりますので、後日議事録を議事録もホームページで公開させていただきます。そのため議事の内容を録音させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。 続きまして、次第3の自己紹介です。これから数回にわたって皆様で協議していただきますので、皆様に自己紹介をお願いしたいと思います。 (委員、順次自己紹介)
五十嵐課長	ありがとうございました。 次に、次第4、委員長を選任についてです。 検討委員会設置要綱第5条の規定に委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の皆様の互選により選任すると規定しております。 委員長の選出に当たりましてご意見を頂戴したいと思いますがいかがでしょうか。 (意見なし)
五十嵐課長	特にご意見がないようでしたら事務局案を提示させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。 (委員、同意)
五十嵐課長	事務局から案をお願いします。
古田島補佐	佐藤元彦委員を委員長に選出させていただきたいと思っております。
五十嵐課長	委員長に佐藤委員をお願いしたいという提案ですが、いかがでしょうか。 (委員、同意)
五十嵐課長	それでは全会一致ということでお願いしたいと思います。 委員長、恐れ入りますが委員長席の方でご移動をお願いいたします。 これ以降の議事につきましては、委員長から進行をお願いいたします。
佐藤委員長	皆様お疲れ様です。 ただいまご指名いただいた佐藤元彦です。 皆様のご協力のもと、進めていければと思いますので、よろしくお願いいたします。 それでは、次第5の副委員長の選任についてであります。 副委員長の選任についても検討委員会設置要綱第5条の規定に、委員の皆様の互選により副委員長を定めると規定されております。 副委員長の選出に当たりましてご意見を頂戴したいと思います、特にないようでしたら事務局の方から先ほどと同じように案を提示してもらおう形にしたいと思います。 何か特にご意見ありますでしょうか。 (意見なし)

古田島補佐
佐藤委員長

では事務局案をお願いします。

石塚茂委員を副委員長に選出させていただきたいと思います。

皆様よろしいでしょうか。

(委員、同意)

佐藤委員長

ありがとうございます。

それでは全会一致ということでお願いしたいと思います。

石塚委員よろしくをお願いします。

佐藤委員長

次に、次第6の諮問について、事務局説明をお願いします。

古田島補佐

本日配付いたしました皆様のお手元の資料の中に、阿賀野市教育委員会教育長名で阿賀野市笹神地区学校統合検討委員会委員長宛の諮問書の写しがついていますのでご覧ください。
それでは教育長から読み上げていただき委員長にお渡しします。

小泉教育長

(諮問書を読み上げる)

本市では、将来にわたる笹神地区の児童数の減少や教育環境の充実を踏まえ、笹岡小学校及び神山小学校の統合について検討しています。

つきましては、笹神地区の児童にとってよりよい教育環境を整備するため、下記の事項についてご意見を賜りたく諮問します。

- 1 笹岡小学校及び神山小学校が統合することの適否について
統合することに決定した場合に、
- 2 統合を行うこととした場合の統合後の学校を設置する場所について
- 3 統合を行うこととした場合、統合を実施する時期について
- 4 統合を行うこととした場合、統合後の学校名について
よろしくをお願いいたします。

古田島補佐

ありがとうございました。諮問によりまして委員の皆様は笹神地区小学校の統合の適否等についてご意見を賜るものでございます。よろしくご審議をお願いいたします。
ここで教育長は退席します。

(教育長退席)

佐藤委員長

では続いて、次第7の事務局説明阿賀野市笹神地区小学校の統合についてです。
今後の審議のため委員の皆様の情報共有を行うため、説明をするものであります。
事務局説明をお願いします。

古田島補佐

お手元の「阿賀野市笹神地区小学校統合について」と書かれた資料をご覧ください。

1 ページ目は、阿賀野市の現在の状況です。

市内7小学校の児童数の推移ということで、すでに出生している子供たちの数によって見込んでおります。

上の段は入学児童数、下の段は全校児童数となっております。

令和8年度に入学児童が261人いましたが、令和14年度になりますと144人ということで、現在の56%に減ってしまうことになります。

全校児童数につきましても、現在1,629人ということになっていますが、6年後の令和14年度にはその72%の1,174人ということになり、急激に児童は減っている状況です。

2 ページ目は笹神地区の状況になります。

笹岡小学校と神山小学校の児童数の推移見込みです。

左側が入学児童数の推移、右側が全校児童数の推移です。

入学児童数そして全校児童数ともに大きく減少するのがわかるかと思います。

特に左側の入学児童ですが、神山小学校では令和 11 年の入学児童数が 3 人となっておりまして、令和 12 年度には複式学級となる見込みです。

また右側の全校児童数ですが、笹神地区全体の児童数が令和 8 年度は 220 人ですが、令和 14 年度には 143 人になり、これは、現在の笹岡小学校の全校児童数が 139 人ですので、ほぼこれと同数となるということになります。

先ほどお話した市内全体の児童数の減少見込みが 72%ですが、笹神地区では 65%ですので、全体の減少率よりも大きく減少するような状況になっております。

3 ページ目は、阿賀野市の学校統合の歴史です。

- ・最初は、京ヶ瀬の駒林小学校が平成 20 年に京ヶ瀬小学校へ統合。
- ・そして平成 21 年に大和小学校、寺社小学校が保田小学校へ統合。
- ・平成 26 年に前山小学校が京ヶ瀬小学校へ統合。
- ・平成 29 年に赤坂小学校、山手小学校が安田小学校へ統合。この時、安田小学校は保田小学校から今の名称に変更。
- ・一番最近では、分田小学校が令和 5 年に堀越小学校と統合。
- ・阿賀野市内の 4 地区で統合を行っていないのは笹神地区のみ。

となっています。平成 26 年の前山小学校の統合までは市で定めた小学校の整備計画に基づいて統合していましたが、その後、その整備計画自体が白紙になってしまいましたので、その後は統合計画に基づかない統合となっています。

今ほど整備計画に基づいて統合したという話をしましたが、赤坂小学校、山手小学校そして分田小学校が統合した経緯ですが、これらにつきましては、過去の資料を確認したり、担当者に聞き取りを行ったりしたところ、保護者の方、地域の方から統合したいという話があって統合を進めたということでした。いずれの学校も複式学級ができたというのが大きな原因になっているようです。

4 ページ目は笹岡小学校と神山小学校の状況です。

- ・笹岡小学校は昭和 57 年、神山小学校は昭和 53 年に創立。
笹岡小学校は旧笹岡小、明倫小、出湯小、大室小の 4 校が、
神山小学校は神山東小、神山西小の 2 校が統合。
- ・学級数は、各校とも 1 学年 1 学級（その他特別支援学級）。
- ・児童数は笹岡小学校 139 人、神山小学校 83 人。
- ・校舎の延べ面積は、笹岡小学校が神山小学校の約 1.7 倍。
- ・校舎改修は、神山小学校が平成 14 年に一部行ったが、その後耐震改修のみで、どちらも築 40 年以上経過している。
- ・笹岡小学校の特徴は、笹神地区の中心部にあること、校舎・敷地が広いこと（維持管理コストが比較的多い）、鳥獣被害の懸念があること。
- ・神山小学校の特徴は、鳥獣被害の心配がほとんどないこと、校舎・敷地がコンパクト（維持管理コストが比較的少ない）。

といったところです。

5 ページ目は複式学級についてです。

- ・文部科学省は、学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方を示している。
学校規模の適正化の検討は、あくまでも児童生徒の教育条件の改善の観点を中心に据え、学校教育の目的や目標をより良く実現するために行うべきだとしている。
- ・神山小学校は令和 12 年度に複式学級となる見込み。
- ・令和 13 年度は、1 年生と 3 年生の隣り合わせでない学年による複式学級ができ、令和 14 年度は 2 年生～5 年生の 4 学年（2・3 年、4・5 年）が複式学級となり、2 つの複式学級ができる見込み。
- ・複式学級は、教員が複数の学年を同時に指導するため、直接指導の時間が限られ、学力低下を招く可能性があるなどのデメリットがある。
- ・一番最近統合した分田小学校は、ずっと統合反対という意向が強かったが、令和 2 年に複式学級ができ、令和 4 年には複式学級が 2 つになってしまうことが見込まれたことから、保護者から統合したいという要望があり、令和 5 年に堀越小学校と統合することになった

た。本委員会のような検討委員会を設置する間もなく、統合した。

- ・ 神山小学校が令和 12 年に複式学級ができる見込みであることから、今回、本統合検討委員会を設置した。本委員会のような個別の学校を統合するかしなないかを検討する委員会を設置したのは阿賀野市では初めて（平成 17 年度に小学校整備計画検討委員会を設置したことはある）。

6 ページ目は、その他、統合の適否を検討するにあたり、皆様に共有したい事項を記載しました。

- ・ 通学バスについて、統合する場合、現在の学校から別の学校へ移る児童は、全員を対象に通学バスによる送迎を行う。
- ・ 統合を検討する際には、この通学バスが重要事項となると思うが、今年度、笹岡小学校区に地域においてクマ対策バスを期間限定で運行する。
次年度以降の運行については今後のクマ出没状況等を勘案して、継続について検討する。
- ・ 笹神地区の将来的な年少人口、0 歳から 14 歳までの人口は、19 年後の 2045 年には 184 人と推計している（令和 7 年は 511 人）。
- ・ このうち 4 割程度が児童数と見込むと、74 人となる。
この数字は、現在の神山小学校児童数 81 人より少なくなるため、このころにはまた複式学級となる可能性が出てくる。
- ・ 仮に統合しても 20 年後、又はもっと早い段階でまた別の学校と統合するということになる可能性があることから、統合することとした場合の場所は、現在の笹岡小学校か神山小学校を考えている。
- ・ 校舎の新設や大規模の改修は予定していない。

また、資料にはありませんが、仮に統合する場合は校舎の改修が必要ですので、最短で令和 11 年度に統合できると考えております。

最後、7 ページ目のスケジュールです。

- ・ 本委員会は今日を含めて 4 回を予定している。
- ・ 委員会でアンケート内容を検討した後、10～11 月に保護者アンケートを実施予定。
- ・ 第 2 回委員会を 10 月初旬に実施し、アンケート内容の決定と、現時点での皆様のご意見を伺う。
- ・ アンケート実施後の 11～12 月に第 3 回委員会を実施して、アンケート結果を踏まえた委員の皆様の意見を伺い、答申に向けた検討を行う。
- ・ 1 月に最終的な答申内容を決定し、教育長へ答申書を提出。
- ・ 2 月の教育委員会定例会で議決後、3 月市議会において説明を行う。

と予定しています。

アンケート案についても事務局で作成しましたのでご覧ください。

これで固まったものではなくて、委員会としてアンケートを行いたいと思っていますので、皆様のご意見を反映させたアンケートにしたいと思っています。アンケート対象は笹神地区の小学校及びこども園・保育園に通わせる保護者の方を想定しております。

あくまでも案ですので、これを参考に次回の会議までに皆様それぞれどのようにしたいのかを考えていただけたらと思います。

次回の会議では現時点での皆様のご意見を伺いたいと思っています。

本日の説明を踏まえまして、周りの方の意見を聞いていただいたりして、まずは、現時点で統合に賛成か反対かお話しいただきたいと思いますと思っています。

私からは以上です。

佐藤委員長

ありがとうございました。

ただいま事務局の方から説明がありましたが、初見ですぐ質問というのも大変だと思いますが、何かご意見はございますか。

音田委員

諮問の写しを見ますと「教育環境の充実を踏まえ」と書いてあります。「児童数の減少」とも書いてありますが、この会議では、教育環境の充実についても意見を述べても良いということですのでよろしいでしょうか。

五十嵐課長	統合する場合はどちらの校舎が良いか、ですとか、統合した場合のバスの運行ですとか、統合したことによる教育環境の整備充実というものも踏まえた上で統合の可否についてご意見いただければと思います。
音田委員	わかりました。
佐藤委員長	今のところはどんな意見でもOKということです。ただ、その検討するところが違うところになる場合も内容によってはあるかもしれないということです。でも、大きく言えば関係してくるので、広く意見をもらっても結構ですということでもいいですかね。
五十嵐課長	はい。
荒木委員	アンケートのたたき台作っていただいてありがとうございます。 アンケートを取って、万が一、保護者の方たちが統合したくないっていう方が多かったら、統合しないという結論になることもあるのでしょうか。今日の会議は「統合しよう」という会議ではなくて、「統合するかしないか」という会議なんでしょうか。 私は市の行政改革審議会の委員にもなっていて、市民に意見を聞いてもらえるのはすごくありがたいんですけども、市としてどうしていきたいか、というものはないのでしょか。
五十嵐課長	その諮問については、統合することの適否についてということで諮問していますので、こういった形のアンケート案を提示させていただいたんですけれども、「市としては統合した方が良く考えています」と記載した方が良く、というご意見が多ければ、そのようにしたいと思います。そこも含めて、また次の委員会でそういったご意見をいただいて、アンケート内容を検討したいと思います。
佐藤委員長	市の態度をきちんと示した方がいいのではないかとというご意見でありました。その上でまた意見を聞いてっていうことだと思います。
荒木委員	統合するんですよね。統合したいからの集まりなんですよね。統合に向けての集まりなんですよね。
五十嵐課長	複式学級になるのは良くないと思っています。
音田委員	今事務局から複式学級は良くないというお話が出ましたけども、その考えがそのまま教育委員会まで広まっているのか行政全体に広まっているのかわかりませんが、校長先生にお伺いしたいのですが、複式学級を見たことがある、又は経験したことがあるならば、その善し悪しについて意見をお聞かせ願いたいというのが一つあります。 私は新発田市の赤谷小学校での教員経験のある方に、赤谷小学校で複式学級に育った子供たちは現在どうしてますかという話を聞いたことがあるんです。その先生は、皆さん立派に育ってますということを言われていました。そういう話が私は耳に入っていましたんで、決して複式学級は悪いものではないと思っています。 また別の先生からは、できれば1学年に2クラスあった方が良く、その方が競争心が芽生えるとか、そういう話も聞いたことはあります。 その本音のところを、委員長も元小学校長ですので、3人の方に複式学級の経験、見聞きしたことをお聞きしてみたいなと思います。
石塚委員	経験はあります。 東蒲原郡の、今はもう閉校してしまった三宝分小学校というところがありました。 全校児童が16名でした。 それで私が勤務した時は最後の閉校の年で、翌年に隣の上条小学校に統合したんですけれども、5・6年の複式学級の担任でした。その学校は、1・2年の複式、3・4年の複式、5・6年生の複式と、低学年、中学年、高学年の3クラスの複式がありました。

私は5・6年の担任で、5年生は男の子3人、6年生は男の子2人、その関係でやっていました。そうすると人数が少ないというデメリットの部分は確かにあります。友達の輪が広がらないということはありません。

次の年の統合を控えて、全くゼロからではなく、事前にいろんな統合する学校に行って交流をして環境を整えて新しい学校に行きましょうという時に、なかなか自分からコミュニケーションは取れなかったという印象を持っています。

周りの子供たちが、その統合先の学校の子供たちが声をかけてくれるのですが、自分から進んで声をかけるということではなく、まだお客様だったかなというふうに思っています。

ただ、統合した後の様子を聞かせてもらおうと、すぐ馴染んで、今までの子供たちと同じようにして活動していたということでした。

教師の立場で言うと、確かに同じクラスの中に2つの学年があると、5年生の学習を見て、6年生の学習を見て、行ったり来たりすることがあります。その分、どうしても目が届かない部分もあるんですが、ただ人数が少ないから細かくは見ることはできます。

子供の数が多ければ、子供たちにとって見れば友達がどんどん広がっていいのかなと思いますし、メリットもあると思いますし、確かにデメリットもあると思います。

複式学級であっても子供たちのその後の人生については特に問題はないかなと思っています。

小野委員

私は複式学級を担当したことはありません。

ただ、どの学校でも特別支援学級についてはほぼ複式学級になっております。

これを学習指導に当てはめると、やっぱり2学年の指導を同時に行うのは教員の力量が非常に必要になるというのは感じています。

より関わりとかを求めるのであれば、複式学級において少人数に対して丁寧な指導をするというのは非常にメリットがあると思います。ただし複式学級で2学年分の授業をするということに関しては大いに教員の力量が関わってくると感じています。

校長としてもう1点、新潟県の教員定数の規定によって、現在の神山小学校は特別支援学級を含めて8学級ですので、8人の担任の他に教務主任と教頭が配置されます。級外が2人配置されます。これが6学級になった時点で、級外の配置が1人になるので、そうすると教務主任がいなくなります。教育の質という面で、教員が1人減るとような状態が発生してしまうのは校長としては正直避けたいなと思っています。

佐藤委員長

私は複式学級のある学校には行ったことはありません。

特別支援学校には行ったことあるので、そこでは先生方が非常に多くいるので、子供たちにとってはとても良い環境かなとは思っています。

阿賀野市の前教育長は清津峡小学校、今もう閉校になっていますが、校長1人、前教育長と担任1人で2人の子供を見ていたんです。教頭もいないんです。事務職員もいないので、校長が、本来事務職がしている給料計算などの事務もしなければならなくなる。

複式学級になったばかりの学級と、今のような全校生徒2人という複式学級ではまた変わりますし、たまたまその時のお子さんの仲の良さですとか、そういうことも関係してきますし、非常にうまくいく場合もあります。ケースバイケースで、良く出る場合と、工夫していかないといけない場合が出てくるのは確かかなと思っています。

小菅委員

複式学級の定義ですが、子供の数が少なくて複式学級になるのはわかったんですけど、逆に日本全国の中で子供の数が多いのに複式学級になってる学校はあるんですか。

ないということは、複式学級はデメリットがあるということですね。子供の数が多いのにメリットが大きいから複式学級にしている学校はありますか。

佐藤委員長

新潟県で、今年度は、私が調べたところによりますと、小学校3061学級あるうち、複式学級は161学級あります。それは子供の数が少なくてなっています。

多分、子供の数が多い場合、法令上複式学級にできないです。

大学などの附属学校のように、子供の人数が多いのに教員のスキルアップのために複式学級を作るという場合は、国立ですので、附属ですので、法律とは別にしてやれるんですけれ

ど、基本的には何か研究指定などを受けない限りはできないと思います

小菅委員

複式学級のメリットが多いんだったら、そういう学校もあつて然るべきもののなのに、ないということはもう結論は出ていますよね。

メリット・デメリットをおっしゃる通りあると思うんですが、要は統合を検討する過程で複式学級がどうなのかということが話されるべきことじゃないかなと思います。

後藤委員

何年前か忘れましたが、多分6年以上前だと思うんですが、その時にも統合の話はありました。その時市から「保護者から提案がない限り統合は議題にしない」と言われました。市長も変わり教育長も変わりましたが、そもそもこの統合の話はどこから出てきたのかが、保護者から統合して欲しいという話が出たのか、市としては、先程話が出ましたが、統合するのか、統合ありきなのか、がわからない、どこからこの話が出てきたのでしょうか。

保護者から出た話なら、もう統合すべきなのかな、と思いますが。

五十嵐課長

今回は事務局、市の教育委員会から出した話です。複式学級が悪いということではなくて、通常の学年ごとにクラス編成をすることに比べて、複式学級が生じて少人数で学校運営をする方がデメリットは多いと考えています。このまま笹岡小学校、神山小学校のままだと神山小学校が複式学級になるということで、それは避けるべきなんだろうと思います。しかし皆さんのご意見をお伺いしたいと思い、事前に笹岡小学校、神山小学校の校長と保護者の代表の方などにお伺いして、この委員会をちょっと立ち上げさせていただいたということです。

以前の統合の時は、既に複式学級になっていて、やっぱりこれって良くないよねという保護者からの声に基づいて統合した、分田小学校などはそうだったんですけども、そうではなくて、複式学級になってしまう前に統合した方が良いというふうに一応事務局で考えてこのような委員会を立ち上げました。

佐藤委員長

分田小学校の場合は、保護者や地域の方から、複式学級を1年経験した結果も踏まえて、やはり統合していきたいっていう話になったと思いますので、こういう委員会は設けられませんでした。

荒木委員

神山小学校の令和11年度に小学校1年生になる3人のお母さんたち、統合して欲しいと思っています。産まれた時に小学校に上がる人数がわかってるのに、なんで今頃、統合してくれたら嬉しいけれども、何でその時に決めてくれなかったんだろうっていう話を、その3人のお母さんたちから聞くと、何で今なのかかなと思います。

何でもっと早く動いてくれなかったのかなっていう、小学校に通っているお母さんたちにアンケートとったら、もうあと何年で卒業するからまあいいやとなってしまうんですが、子供が産まれた時にはお母さんたちは心配でしょうがなかったんじゃないでしょうかね。

佐藤委員長

これは多分、市の学校再編計画が現在ないので説明できなかった、それで声が上がってから統合を検討するという形になっているからだと思います。

別の言い方をすれば、市で計画をきちんと示して親御さんにも先の見通しを示せていれば良かったのなっていう意見だと思います。ないから、どういう経緯で統合の話が出たのか、今皆さんの疑問が出てくるのだと思いますので、そこは市の教育委員会の宿題になるんでしょうね。

今回の統合とは別問題ですが、大いに関わってくる問題ですよ。

清野委員

私は神山小学校に子供がいて、多分統合する前には卒業してしまうんですけども、神山小学校に入る予定だった学年ですごく児童数が少ない学年もあつて、実際に一生懸命保護者の方が統合のために動いてるのも聞いていましたが、やはり先程おっしゃったように、なかなか話が前に進まなかったっていうのもあつて、それで何か噂で神山がこう言っている、笹岡がこう言っている、そんな噂話も聞こえてきたりしていました。何となく聞き流してきたんですけども、子供が学校生活を送る上で、少人数であればメリットもあつたんですね。

でもやはりデメリットもあつて、学校やクラスの中で起きるトラブルに対して対処してい

く中で、神山小学校は1クラスしかなく、1クラス10人前後のクラスで担任の先生が1人で見ている状況です。。

私が子供のころは副任の先生がいて、担任の先生も、校長先生や教務主任の先生に相談をしていろいろなことを解決されてきたと思うんですけど、担任の先生が相談できる教員が少ないっていうのが、すごく大変だろうなって思うんですね。子供の数が減少すれば教員の数もどんどん少なくなっていく。

それは、学校の先生もすごく大変な職業だと思いますし、教育環境を整えるという意味でも、学校の先生が指導しやすい環境、相談しやすい環境を作ることが子供の教育環境に繋がってくると私は考えるんです。

私は統合するべきだと思うんですけども、複式学級がどうか、もう統合がどうかではなくて、子供のことを考えた時に、うちの子供は卒業していきますが、この先の子供の環境を考えた時、複式学級のメリット、デメリットを考えるよりは、担任の先生がもっと相談しやすい環境になるべきじゃないのかなと思います。

佐藤委員長

教育環境の整備のためには指導者の人数の確保、そういう教員の相談しやすいのためにある程度人数がいないと、というご意見だったと思います。それがより良い教育ということで子供にかえってくるんじゃないかっていうことですよ。

清野委員

上の子が今中学校に通っていますが、コロナが流行している時に小学1年生でしたので、そこから始まって卒業するまでにいろんなことがあり、先生たちは協力していろんな問題を解決はしてきたのですが、副任がいなくてこんなに大変なのかと思ったことが何回もありました。例えば3年生の担任が相談する相手が4年生5年生の担任だったりすると、どんどん仕事が増えていきます。

そういうのも統合する理由になるのではないかと思います。

音田委員

今の清野さんのお話を受けて、先程石塚校長先生もおっしゃってましたけれども、学年が違う児童を担当すると大変なこともあったとおっしゃいましたよね。

文部科学省は別として、複式学級になった場合、市から独自に副任のような補助教員を置いてもらう、お金もかかることでしょけれども、やるつもりがないのかどうかとか、そういう方策もあると思うんです今の話。

当然今すぐ結論は出ないと思いますけれども、考えておいてもらえれば良いかなと。例えばたまたま1年間だけ複式だとか、この後人数も変化しますので、統合しなくても、その時は副任を置いて、充実した教育環境を子供たちに提供するとか、そういう方策もあるんじゃないかなと思います。

多分、教育委員会が考えていないと思いますが。お金がかかりますので。

その辺は後々の話ですけども、最初に私申し上げましたように諮問書に「教育環境の充実を踏まえ」という文言もありますので、その辺も検討してもらえればと思います。

佐藤委員長

県の教育委員会のルールで、統合が決まると、統合加配という制度がありまして、統合する前1年と統合後の1年は統合準備のために普通の教員数よりも1名加配されます。

その他、自治体によって学習指導補助員など、子供の多様性に応じて自治体の予算の範囲でやる制度はあります。それで十分なのかと言われますとそこは予算によって決まってくるのが実情ですが、現場の教員にとっては多ければ多いほど心強いことは事実であります。

阿賀野市独自の制度は何かありますか。

五十嵐課長

副任制度というものはありませんが、不登校傾向にある子供が多いということで、神山小学校はないんですけども、神山小学校以外の6小学校と4中学校に校内教育支援センターを設置しています。

自分のクラスには通いづらいけれども、学校には行けてその教室なら行けるという子供のため、校内教育支援センターを設置する前は白鳥ルームと校外に設置したところだけでしたが、校内にそういった場所を設けて、そこには市の予算で教員免許を持った方を専任の教員

	を配置しています。 他の自治体で校内教育支援センターに専任の教員を置いているところはなく、現在市独自の取組となっています。
音田委員	阿賀野市の小学校で不登校がいないのは神山小学校だけなんですか。そのように聞いていましたが。
五十嵐課長	そうですね。校内教育支援センターがないのは神山小学校だけです。
石山委員	複式学級という言葉は知っていましたが、皆さんのご意見聞きますと、不安視する声もあるし、教員された皆さんから良い面もあるよという話も聞けましたので、複式学級について次回までによく勉強してこようかなと思っております。 清野さんから話がありましたが、職員体制だとか教員の力量だとか、そういうところは自分も小学校の子供の親になってみて思うところがいろいろあります。 あくまで個人的な意見ですけども、私が30年前に神山小学校の生徒だった時よりも、子供は大幅に減っていますが、教員は忙しそうにと見えます。 子供も忙しい感じがしますけれども、学習指導要領もあって、今はそういう時代なんでしょう。 先生方も、そんな気にしないでいいところまで気にするんだということにまで目を光らせながら忙しいし、いっぱいいっぱいになるところもあるし、目が行き届いていないんじゃないかなと言いたくなることもあります。 1つ、今回この場で聞きたいなと思っていたところですが、先ほどあくまで案だと言われるこのアンケートの内容について、統合する場合の学校の場所という設問があります。 笹岡小学校か神山小学校で統合しますと書いてありますが、委員に選ばれてから考えていて、周りの方、小学校父兄の方ともこんなことを聞いてくるんだ、という話をしていました。 笹神中学校がありますよね。私が生徒の時は1学年で4クラスありました。それだけの教室が今もあるのかはわかりませんが、小中一貫みたいな感じで笹神中学校に集めるっていう形は取れないのかなと思っていたところがあったんです。 そこについては、ご意見が同じ方もいれば、いやそれはないだろうって方もいるとは思いますが、例えばバス通学になった時も楽なのかなと思ったりはしましたね。
佐藤委員長	アンケートの選択肢に「その他」があった方が良い、という話になりますね。
石山委員	笹岡と神山は距離がそれなりに離れてますので、どちらかに統合するとなると、近くに住んでいる方は悪くないでしょうけれども、遠くなる方は何か思うところが出てくるのかなと思います。 中学校で統合することで間を取るとした方がその辺りがマイルドになるかなというところもありますし、児童数から見ても、私が中学校の時の人数ぐらいには全然収まるという気はします。 少し突飛な意見だったかもしれませんが、検討が間に合えばお願いします。中学校まで巻き込んでしましますが。
佐藤委員長	市もすぐには返事ができないでしょうが。
荒木委員	義務教育学校というのがあるんですよね。
後藤委員	小中学校が一緒なんですよ。
佐藤委員長	湯沢町は全小中学校が一つにまとまった学校ができました。規模の問題もありますが。
荒木委員	親にとっては良いですよ。

若林委員	これから先、児童生徒数が減少していく中で水原に吸収されるのかと考えると、笹神の風土や地域性を大切に守っていくという意味でも小学校と中学校が一緒になって育んでいくのもいいのかな、なんて思ったりしていました。
後藤委員	笹神地区に学校がなくなる、という懸念が出てきますよね。小中学校が一緒になってしまえばなくならないですよね。
石山委員	細かいことを考えずに発言して混乱させましたね。
荒木委員	わかります。私もそういう意見でした。
後藤委員	中学校も1クラス20人以下になってくるので、今の半分しか生徒数がいなくなるので、その辺も気にはなっていました。
若林委員	長い目で見たら考えなきゃいけないのかもしれないですよね。
音田委員	今の話について、事務局としては最初から統合ありきで進めようとしたのが最初に聞こえましたけれども、統合した場合どちらかの小学校が空きますよね。 その時の空いたグラウンドや建物のメンテナンスをどうするかについてを考えていました。例えば、今年、笹岡小学校で裏の笹山を地元の人たちが笹刈りしたという話を聞きました。もし、今のお話のように笹神中学校で統合した場合は、笹岡小学校のところも笹刈りなどのクマ対策をしなくても良くなりますよね。その辺りは当然事務局もお考えだと思いますが、いかがでしょうか。
石塚委員	それはPTAの奉仕作業のことでしょうか。用務員さんは毎日のように草刈りしていますが。
音田委員	今年はPTAと無関係の人がやったと聞いています。去年はできなかったが、今年はしたと。
荒木委員	建物のメンテナンスについてはまた別ですよ。とりあえず統合ですもんね。
五十嵐課長	まずは子供たちの教育環境を考えて検討します。廃校になった校舎につきましては、市役所の別な部署が管理して、その利活用について検討してすることになりますので、そこは一旦置いておいて、統合するべきかしない方が良いかというところを検討していただきたいと思います。
若林委員	私は3年前に引っ越してきた時、転校前と同じ規模、児童数の小学校への入学を考えていたことがありました。なぜかという、息子が少し気持ちの弱い部分があって、転校することによってすごく心配を持って転校してきました。 同じ規模の小学校だったんですけど、やはり慣れるのに、溶け込むのにものすごく時間がかかったという経験があって、笹岡小学校と神山小学校の人数や環境を比べて、児童数が少ない方の小学校を、よりデリケートに保護者の方とかお子さんたちとかに寄り添って考えてあげて、話を丁寧に聞いてあげて進めていくのが一番良いと思いました。
佐藤委員長	今までご発言がありませんでしたが、高橋委員は何かご意見はあります。
高橋委員	私の子供が入学する時に子供の数が少なくて統合をお願いしたんですが、こういった会議はありませんでした。その経緯もあって今回こうなったのかな、市も少しは考えてくれたのかな、と思いました。
佐藤委員長	いろんな意見が出ましたけれども、委員の皆様は今日の議論や知識を踏まえてまたそれぞれ

れの立場で周りの方々からご意見を伺っていただいたりして、市教委からは今挙げたようなご意見も踏まえて、問題の整理をしてもらって、次回の会議で答えていただければと思います。

あと私達委員の宿題としては、このアンケート案を踏まえながら、それぞれの現在での統合についてのご意見を次回、お一人ずつ聞いていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

アンケートについてはそれぞれ次回までに読んでいただいて、今日出たご意見のように、設置場所についてはもう項目あってもいいんじゃないか、アイデアを募集してもいいんじゃないかみたいなご意見もありました。

また、市としての基本線、例えばこんな風に考えてますものを提示して、そこも踏まえて原案として出していただければ、賛成、反対の意見を出しやすくなるのかもしれませんが。何もなくて聞かれてもアンケートをもらった方も答えづらいところもあるかもしれませんので、より方向が集約できるような方向で、またより個人の意見も述べやすいところを踏まえて、それぞれ考えていただければなと思います。

それでは時間の方も進んできましたので、最後に次第 8，その他について事務局から何かありますでしょうか。

古田島補佐

次回委員会の日程調整をさせていただきたいと思います。10 月の初め頃でお願いしたいです。

(調整の結果、10 月 7 日に決定)

古田島補佐

10 月 7 日の水曜日午後 6 時から、今のところこの会場での開催を考えていますが、正式な案内を改めてさせていただきます。よろしくお願いいたします。

五十嵐課長

次回以降の委員会についてですが、今日は公開でしたがたまたま傍聴の方がいらっしゃらなかったんですけども、次回以降、デリケートな意見が出る可能性がありますので、できれば非公開にさせていただきたいということであれば非公開にさせていただきますし、公開で全然問題ないということであれば公開します。ご意見を伺いたいと思います。

原則公開なんですけども、意見を言いづらいということであれば非公開にすることができます。

非公開とした場合ですが会議録は委員名を伏せて公表するという事にさせていただきます。

(全員公開で一致)

五十嵐課長

次回会議は公開とします。

佐藤委員長

ほかに事務局から何かありませんでしょうか。

なければ、以上で全ての審議を終了しました。皆様本当にありがとうございました。それでは事務局にお返しします。

五十嵐課長

本日は、大変貴重なお時間、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。会議録につきましては、一応こちらで原案作成後、委員長に確認いただいてからホームページに掲載させていただきますのでよろしくお願いいたします。

本日の会議はこれで閉会といたします。

ありがとうございました。

午後 7 時 15 分 閉会